

# 第5次秋鹿地区地域福祉活動計画

～老いも若きも ふれあい・つながり・支え合う 秋鹿のまちづくり～

秋鹿地区社会福祉協議会

## はじめに

我が国では、一億総活躍社会づくりが進められる中、福祉分野においては「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた施策を始めています。「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニケーションを育成し、公的な福祉サービスを協働して助け合いながら暮らすことのできる地域を実現することが重要です。

秋鹿地区社会福祉協議会では、平成14年に4ヶ年の第1次秋鹿地区地域福祉活動計画を策定し、以後2次、3次、4次と実施状況の検証と評価を行い秋鹿地区が抱える福祉の諸課題への対応を実践してきました。

私達の住む秋鹿は、若者の地域外流出等による人口減少、年に数人しか出生のない少子化と独居世帯の増加に伴い高齢化率が40パーセントを超え確実に高齢化が進んでいる状況にあります。

このような状況に鑑み、第5次計画を策定する上での基本方針を

1. 10年後を見据えたまちづくりをすすめる。
2. 「したいこと」と「出来ること」の選択と集中。
3. みんなが楽しくて参加したくなることをする。

として、戦略部会で第4次の振り返りを通して第5次の構想を練り、更に作業部会で地域の諸課題を検討し、策定委委員会で計画全体を評価してきました。

また、秋鹿のまちづくりには何が必要なのかを調査するために「住みよいまちづくり」、「若者定住」、「お買い物」のアンケートを全世帯に実施しました。第5次計画では、この調査結果を基に新たに高齢者の買物不安の解消を目標に「買い物支援」、秋鹿の自然を生かした地元特産品の栽培を通じた「高齢者生きがい」、地域行事・役割の軽減、若者のネットワーク創り、高齢者及び要支援者の災害時の支援といった住みよいまちづくりのための組織同士の連携と事業を検討する「まちづくり（組織の充実）」の活動を盛り込みました。

第4次計画にあった3つの最重点活動として掲げた「若者定住の条件整備」、「少子化対策」、「高齢者対策」は、3つの専門部会が中心となり進めてきましたが、第5次では各部会を取りやめ、秋鹿地区社会福祉協議会が中心となって他団体と協力し進めていきます。

この計画は、作り上げることが目的ではなく、具体的な取り組みへとつながること、そして、その先にある秋鹿の一人ひとりの幸せへとつながっていくことが目的です。この計画を生かして、私達みんなが幸せに暮らせる社会に向かっていきましょう。

平成31年3月

秋鹿地区社会福祉協議会  
会長 永戸 賢樹

第5次秋鹿地区地域福祉活動計画策定の流れ

日程	会議名など	内容・議題など
6月20日	第1回策定委員会	議題 ・第4次秋鹿地区地域福祉活動計画について ・第5次秋鹿地区地域福祉活動計画策定について
7月5日	第1回作業部会	議題 ・第4次秋鹿地区地域福祉活動計画反省・評価について
8月8日	第2回作業部会	議題 ・第4次秋鹿地区地域福祉活動計画反省・評価について ・アンケートについて
8月18日	アンケート調査 ・若者定住アンケート【簡易版】	あいかの里まつりにて実施
8月末配布 9月末回収	アンケート調査 ・住みよいまちづくりアンケート ・買い物アンケート ・若者定住アンケート	自治会長に配布依頼 ・『住みよいまちづくり』アンケート：全世帯 ・お買い物アンケート：全世帯 ・『若者定住』についてのアンケート：50歳以下の方がいる世帯
9月10日	第3回作業部会	議題 ・若者定住アンケート【簡易版】集計結果について
10月23日	第4回作業部会	議題 ・『住みよいまちづくり』アンケート集計結果について
11月19日	第5回作業部会	議題 ・お買い物アンケート集計結果について ・『若者定住』についてのアンケート集計結果について
12月1日	秋鹿地区社会福祉協議会 臨時正副会長会	議題 ・第4次反省とアンケートから第5次活動計画について
12月18日	第6回作業部会	議題 ・第4次反省とアンケートから第5次活動計画について
1月31日	第7回作業部会	議題 ・第5次秋鹿地区地域福祉活動計画実施計画表(案)について
2月12日	秋鹿地区社会福祉協議会 臨時正副会長会	議題 ・第5次秋鹿地区地域福祉活動計画(案)について
2月15日	第8回作業部会	議題 ・第5次秋鹿地区地域福祉活動計画(案)について
3月13日	第2回策定委員会	議題 ・第5次秋鹿地区地域福祉活動計画(案)について

第4次秋鹿地区地域福祉活動計画			みんなの声(アンケート調査から)	第5次秋鹿地区地域福祉活動計画			
活動名	活動目標	評価		活動名	活動目標	具体的な取り組み	
なごやか寄り合い	誰もが参加しやすいなごやか寄り合い	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が少ない</li> <li>参加者が固定化している</li> <li>福祉班長、福祉推進員が負担に感じている</li> <li>三世代交流事業として実施している自治会もある</li> <li>開催の周知も必要ではないか</li> <li>ふらわぁ喫茶へ来るための交通手段がない</li> <li>ふらわぁ喫茶の自治会で開催</li> </ul>	なごやか寄り合い	誰もが参加しやすいなごやか寄り合い 多世代が参加できるなごやか寄り合い	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉班長や福祉推進員の負担軽減の対策</li> <li>広報の方法など多くの方が参加しやすいなごやか寄り合いの検討</li> </ul>
ふらわぁ喫茶	多くの地区民が参加できる交流広場とする	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会は年3回実施してるが、対象者の参加が少ない</li> <li>弁当の数を増やせば、ボランティアの負担も増える</li> <li>今後、高齢者も増える中、対象者が増加する可能性があり、どう対応するのか</li> <li>ボランティアの高齢化</li> </ul>	新規
そよかぜ交流会	より多くの対象者に参加してもらう	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>餅つきふれあい訪問時にひとり暮らし高齢者に餅を配るのが不安</li> <li>ひとり暮らし高齢者の生活支援・安否確認・災害時の支援が重要</li> </ul>	そよかぜ交流会 そよかぜ弁当配食	ひとり暮らし高齢者への見守りとコミュニケーションの機会の充実	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアへの誘いを随時行う</li> <li>民生・児童委員協議会、他団体と連携し、対象者の要望に沿った事業の検討</li> </ul>
そよかぜ弁当配食	より多くの独居高齢者に弁当を配布し、見守りの機会を増やす	◎				<ul style="list-style-type: none"> <li>餅つきふれあい訪問時にひとり暮らし高齢者に餅を配るのが不安</li> <li>ひとり暮らし高齢者の生活支援・安否確認・災害時の支援が重要</li> </ul>	新規
独居高齢者見舞い訪問(子ども会餅つきふれあい訪問)	杵と臼で餅をつくことを子どもたちに体験させるとともに、手紙を添え独居高齢者宅に届けることにより、思いやりの心や福祉の心を育てる	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>餅つきふれあい訪問時にひとり暮らし高齢者に餅を配るのが不安</li> <li>ひとり暮らし高齢者の生活支援・安否確認・災害時の支援が重要</li> </ul>	ひとり暮らし高齢者見舞い訪問 子ども会ふれあい訪問 寿会友愛訪問	ひとり暮らし高齢者の見守りの機会の充実 子どもと高齢者の交流の場	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会育成協議会、寿会、その他団体と連携し、事業内容や実施時期など検討</li> </ul>
独居高齢者見舞い訪問(寿会友愛訪問)	年齢が近く相談しやすいという利点を生かした見守り訪問にする	○					
高齢者部会	より充実した高齢者への支援などを検討する	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次で、各事業の進捗状況などの検討する場を設定するため、部会を廃止する</li> </ul>				
高齢者すこやかふれあい大会	出来るだけ多くの高齢者に参加してもらう	○		高齢者すこやかふれあい大会	高齢者のつどいの場	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体、福祉班長、福祉推進員と連携し、事業内容の検討</li> </ul>
長期療養者見舞い訪問(民生委員訪問)	長期療養者を民生委員が訪問することにより、よりきめの細かい見守りを行う	◎		在宅療養者見舞い訪問	在宅療養者の訪問を行うことできめの細かい見守りを行う 在宅療養者の家族への慰労(声かけ)を行う	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生・児童委員協議会と連携し、事業内容の検討</li> </ul>
健康まつえ21推進隊ウォーキング大会	魅力的なコースを設定し、誰もが参加しやすいウォーキング大会にする	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康にはバランスのとれた食事、ウォーキングなどの適切な運動が必要</li> <li>ウォーキングは何か社会見学的なことも組み入れてはどうか</li> <li>定期的な健診、受診</li> <li>生活習慣病や認知症の予防の知識が必要</li> <li>平日開催が多く、参加者が少ない</li> </ul>	秋鹿地区健康まつえ21推進隊	運動・食・けんしん受診を中心に健康づくりの推進	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動部会を中心に運動体操教室、あいかウォーキングなどの運動に関する事業</li> <li>食部会を中心に料理教室、健康食の提供など食に関する事業</li> <li>けんしん部会を中心にがん検診PR、研修会(健康相談会)などの検診や健康に関する事業</li> <li>保健協力員の確保</li> <li>保健師、他団体と連携し、事業内容の検討</li> </ul>
健康松江21推進隊推進隊会議健康相談	組織の充実 健康に対する意識を高め、受診者の数を増やす	◎					
健康松江21推進隊がん検診PR	がん検診PRを充実させ、受診率のさらなる向上を目指す	◎					
湖北だんごの会	自立を促すための障がいに見合った支援の方法と魅力ある活動内容の工夫をする 湖北3地区の在宅障がい者の情報を得る 湖北中特別支援学級との交流を図る	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>他地区にはない活動であり、参加者には好評</li> <li>新たな参加者が少ない</li> <li>新たな方へどのようにお声かけをしたらよいかわからない</li> <li>ボランティアの高齢化</li> </ul>	湖北だんごの会	参加者の自立支援につながるような魅力ある活動内容にする 湖北3地区の障がい者の情報を得るためのネットワーク作り	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に活動内容の検討</li> <li>市社協、包括支援センターなど他機関と連携</li> </ul>

第4次地区地域福祉活動計画			みんなの声（アンケート調査から）	第5次地区地域福祉活動計画			
活動名	活動目標	評価		活動名	活動目標	具体的な取り組み	
親子のつどい	子育て世代への呼びかけの工夫と子育て交流の在り方を考えていく 親同士の仲間作りを積極的に仕向けて行き、リーダー育成の方向付けをしていく	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>親の仲間作りの場として活用されている</li> <li>高学年の放課後支援</li> <li>共働き世代への支援</li> <li>子どもの見守りを充実してほしい</li> <li>少子化対策が必要</li> <li>誰でも参加できるように広報を通じて広く周知が必要</li> <li>ボランティアの高齢化</li> </ul>	親子のつどい	親子の居場所作り 親同士の仲間づくり 子育て世帯と地域とのつながり	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の伝統文化、行事を基本に事業内容の検討</li> <li>より多くの子育て世帯に参加してもらえるように、広報の方法を検討</li> <li>子育て世帯把握や事業内容の充実のため、やんちゃ教室、母子保健推進員、保健師、幼稚園、小学校などとのネットワーク作り</li> </ul>
やんちゃ教室	参加する子供の発達上の問題について保健師及びボランティアが互いに連携を取り合う 赤ちゃん訪問を実施し、地域の実態を知っていく 子育てママの孤立を防ぐために、湖北三地区との効果的な交流をしていく	◎					
少子化対策部会	活動計画の方向性を見直し、より望ましい子育てとなるよう手助けをしていく	◎					
福祉推進員の研修会	福祉推進員がそれぞれの地区で活用できる研修内容とする	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した研修内容</li> <li>障がい者への理解、高齢者への理解</li> <li>地域人材の発掘</li> </ul>	福祉のネットワーク推進大会 福祉推進員研修会	福祉推進員がそれぞれの地区で活用できる研修内容とする 研修を通して、地区社協の活動や地域活動への理解を深める	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協関係団体、福祉班長、福祉推進員、市社協と連携し、事業内容の検討</li> </ul>
福祉のネットワーク推進大会	地区社協を構成する団体が情報を共有し、連携できる場とする	○					
若者定住部会	秋鹿地区出身者（地区外在住者に帰郷を呼びかけ、秋鹿への定住者増を目指す 秋鹿地区のことをもっと知る機会を設け、地区への愛着心を醸成する 若い人が参加できる場をつくる	△	第5次で、各事業の進捗状況などの検討する場を設定するため、部会を廃止する				
たより発行	よりわかりやすいたよりの発行	◎		広報活動	地区社協の事業・活動の広報や報告をわかりやすく	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協だよりやHPの活用</li> <li>市社協や包括支援センター、保健センターなど他機関の情報も活用</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内のお店の品物をもう少し増やしてほしい</li> <li>買い物難民のないまちづくりのためいろいろやるべき</li> <li>今あるお店を活用して、地域の農作物等を守る</li> </ul>	買い物支援	誰もが住みやすいまち秋鹿のために買い物不安の軽減	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存のお店などと協議し、よりよいサービスの提供ができるよう検討</li> <li>コミュニティバス活用の検討</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地の対策</li> <li>高齢者の生きがいづくり</li> </ul>	高齢者生きがい	秋鹿の自然を生かしたつながり	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元特産品を栽培することによる地元へのPRと販売を通じた生きがいづくり</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>若者のU・Iターン対策、定住対策、移住対策</li> <li>若い世代が繋がることも必要</li> <li>空き家情報の収集と情報発信</li> <li>それぞれの事業や活動を引き継ぐ後継者がいない</li> <li>イベントや行事が多すぎる</li> <li>災害時の対応について(避難場所の確認や防災組織の充実)</li> <li>地域課題の正確な把握</li> </ul>	まちづくり	住みよいまちづくりのための組織の連携と事業の検討	新規	<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体と連携し、事業の支援や協力</li> <li>協議体の設置</li> <li>行事及び役割の軽減を検討</li> <li>イベントを通じた若者のネットワークを広げ、U・Iターンにつなげる</li> <li>高齢者、要支援者などの情報を把握し、災害時の支援を行う</li> </ul>



第5次実施計画表									
スローガン（福祉目標）		老いも若きも ふれあい・つながり・支え合う 秋鹿のまちづくり							
活動名	活動目標	具体的な取り組み	実施・協力団体	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	評価
なごやか寄り合い	誰もが参加しやすいなごやか寄り合い 多世代が参加できるなごやか寄り合い	充実 ・福祉班長や福祉推進員の負担軽減の対策 ・広報の方法など多くの方が参加しやすいなごやか寄り合いの検討	福祉推進員 自治会	負担軽減、 広報など検討	→				
		新規 ・多世代が参加できるなごやか寄り合いの周知 ・ふらわぁ喫茶の各なごやか寄り合い出張開催							
高齢者すこやかふれあい大会	高齢者のつどいの場	充実 ・他団体、福祉班長、福祉推進員と連携し、事業内容の検討	福祉推進員 そよかぜグループ 湖北だんごの会 地区社協	事業内容・ 運営方法など検討	→				
高齢者生きがい	秋鹿の自然を生かしたつながり	新規 ・地元特産品を栽培することによる地元へのPRと販売を通じた生きがいづくり	寿会 地区社協	事業内容・ 運営方法など検討					
秋鹿地区 健康まつえ21推進隊	運動・食・けんしん受診を中心に健康づくりの推進	充実 ・運動部を中心とした運動体探教室、あいがウォーキングなどの運動に関する事業 ・食部会を中心に料理教室、健康食提供など食に関する事業 ・けんしん部会を中心にがん検診PR、研修会(健康相談会)などの検診や健康に関する事業 ・保健協力員の確保 ・保健師、他団体と連携し、事業内容の検討	健康まつえ21推進隊 保健師 公民館	事業内容検討 保健協力員の 勧誘	→				
そよかぜ交流会 そよかぜ弁当配食	ひとり暮らし高齢者への見守りとコミュニケーションの機会の充実	充実 ・民生・児童委員協議会、他団体と連携し、対象者の要望に沿った事業の検討 ・ボランティアへの誘いを随時行う	そよかぜグループ 民生・児童委員	事業内容検討 ボラ勧誘	→				
		新規 ・しめ縄(交流会)は土日開催にし、小学4年生以上も参加できるよう検討 ・日中独居対策として、弁当配食時に人数制限(10人程度)を設けて弁当の注文を受け付ける							
ひとり暮らし高齢者見舞い訪問 ・子ども会ふれあい訪問 ・寿会友愛訪問	ひとり暮らし高齢者への見守りの機会の充実 子どもと高齢者の交流の場	充実 ・子ども会育成協議会、寿会、その他団体と連携し、事業内容や実施時期など検討	民生・児童委員 子ども会育成協議会 寿会、地区社協	事業内容・ 実施時期など検討	→				
湖北だんごの会	参加者の自立支援につながるような魅力ある活動内容にする 湖北3地区の障がい者の情報を得るためのネットワーク作り	充実 ・定期的に活動内容の検討 ・市社協、包括支援センターなど他機関と連携	湖北だんごの会 民生・児童委員	事業内容・ 運営方法など検討	→				
在宅療養者見舞い訪問	在宅療養者の訪問を行うことにより、きめの細かい見守りを行う 在宅療養者の家族への慰労(声かけ)を行う	充実 ・民生・児童委員協議会と連携し、事業内容の検討	民生・児童委員	事業内容検討	→				
買い物支援	誰もが住みやすいまち秋鹿のために買い物不安の軽減	新規 ・既存のお店などと協議し、よりよいサービスの提供ができるよう検討 ・コミュニティバス活用の検討	地区内商店 コミバス協議会 地区社協	事業内容・ 運営方法など検討					
親子のつどい	親子の居場所作り 親同士の仲間づくり 子育て世帯と地域とのつながり	充実 ・地域の伝統文化、行事を基本に事業内容の検討 ・より多くの子育て世帯に参加してもらえるように、広報の方法を検討 ・子育て世帯把握や事業内容の充実のため、やんちゃ教室、母子保健推進員、保健師、幼稚園、小学校とのネットワーク作り	地区社協 母子保健推進員 保健師 幼稚園、小学校	事業内容・ 運営方法など検討	→				
福祉のネットワーク推進大会 福祉推進員研修会	福祉推進員が地区で活用できる研修内容とする 研修を通して、地区社協の活動や地域活動への理解を深める	充実 ・地区社協関係団体、福祉班長、福祉推進員、市社協と連携し、事業内容の検討	福祉推進員 そよかぜグループ 湖北だんごの会 地区社協	事業内容・ 運営方法など検討	→				
広報活動	地区社協の事業・活動の広報や報告をわかりやすく	充実 ・地区社協たよりやHPの活用 ・市社協や包括支援センター、保健センターなど他機関の情報も活用	地区社協	情報収集	→				
まちづくり	住みよいまちづくりのための組織の連携と事業の検討	新規 ・他団体と連携し、事業の支援や協力 ・協議体の設置 ・行事及び役割の軽減を検討 ・イベントを通じた若者のネットワークを広げ、U・Iターンにつなげる ・高齢者、要支援者などの情報を把握し災害時の支援を行う	公民館運営協議会 自治会連合会 体協 まちづくり委員会	事業内容・ 運営方法など検討					